

教育委員会の所管事務に係る 自己点検・評価報告書

〔令和3年度事業分〕

令和4年9月

南島原市教育委員会

目 次

(頁)

教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について (1)

学識経験者の所見 (5)

自己点検・評価 (13)

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務 (14)

1 教育委員会及び教育委員の活動 (14)

- (1) 教育委員会会議の運営及び情報発信
- (2) 教育委員と事務局との連携
- (3) 教育委員会と市との連携
- (4) 教育機関等との連携
- (5) 教育委員の研修等

2 教育委員会が管理又は執行する事務(教育長に委任できない事務) . . . (16)

- (1) 教育行政運営に関する一般方針の決定
- (2) 学校その他教育機関の設置又は廃止の決定
- (3) 県費負担教職員の懲戒並びに小学校長及び中学校長の任免その他の進退についての内申
- (4) 教育次長、課長及びその他の教育機関(小学校及び中学校を除く)の長の任免
- (5) 学校その他の教育機関の敷地の選定及び変更の決定
- (6) 教育委員会規則の制定又は改廃
- (7) 教育予算その他議会の議決を経るべき事件の議案に関する意見
- (8) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱
- (9) 教科用図書採択に関する基本方針の決定
- (10) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域の設定又は変更の決定
- (11) 市文化財の指定又は指定の解除の決定
- (12) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定による教育委員会の権限に属する事務についての点検及び評価並びに公表

第2 教育委員会事務局の執行事務(教育委員会から教育長が委任されている事務) . . . (18)

1 教育環境の充実に係る事務 (18)

- (1) 小・中学校の耐震性の確保を図る整備工事
- (2) 小・中学校の整備改修
- (3) 社会教育施設・社会体育施設の整備改修

2 学校教育の推進に関する事務 (21)

- (1) 新入学児童支援事業（教育支援委員会）
- (2) 特別支援教育推進事業（特別支援教育助手の配置）
- (3) 子どもの悩み相談事業（心の教室相談員の配置）
- (4) 学校支援員配置事業
- (5) 市教職員研修「あかつき」
- (6) 北村西望賞教育美術展・古野賞科学技術展
- (7) 人間教育研究指定小学校事業
- (8) 人間教育研究指定中学校事業
- (9) 総合学習事業（小学校）
- (10) 総合学習事業（中学校）
- (11) 語学指導外国青年招致事業（外国語指導助手等の配置）
- (12) 学校給食関連設備整備事業
- (13) 南島原市立小学校適正規模・適正配置事業
- (14) ICT機器の整備
- (15) 中体連補助事業
- (16) 英語検定料等補助金事業
- (17) 南島原市イングリッシュ・パフォーマンスコンテスト

3 社会教育の推進に関する事務 (26)

- (1) 社会教育委員兼公民館運営審議会委員の活動
- (2) 家庭教育支援の充実
- (3) 地域教育力の充実
- (4) 芸術文化の振興
- (5) 読書活動の推進

4 スポーツの振興に関する事務 (32)

- (1) スポーツイベントの開催
- (2) スポーツ団体との連携

5 文化財の保護活用に関する事務 (34)

- (1) 資料館等の維持・管理
- (2) 指定文化財の保護・管理
- (3) 埋蔵文化財の発掘調査
- (4) 文化財保護審議会
- (5) 史跡原城跡・日野江城跡専門委員会

6 世界遺産推進に関する事務 (38)

- (1) 世界遺産の価値に関する適切な情報提供
- (2) 世界遺産アクションプランに基づく取組の展開

教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書の作成の仕方について

- 1 教育委員会の所管事務について、項目ごとに、点検・評価のコメント及び活動内容について記載しました。

また、項目ごとに、達成度と評価を記載しました。

なお、達成度において、新型コロナウイルス感染症のため実施できなかった事業は、未実施としています。

【達成度】

達成	達成率 100%以上
概ね達成	達成率 80%～99%
未達成	達成率 80%未満
未実施	新型コロナウイルス感染症のため未実施

【評価】

継続	今後も対象範囲や条件等を変えずに予定どおり（計画どおり）実施するもの
拡充	今後、対象範囲や条件、規模等を拡大・追加して実施するもの
縮小	今後、対象範囲や条件、規模等を縮小して実施
改善	規模や対象等の変更を伴わず、事務手法等を改善する
統合	事業の再編や事務の簡素化等のため別の事業に統合する
完了・廃止	事業の完成などにより事業を終了するもの

- 2 回数、人数等、令和3年度の数値（実績）が前年度と比較できるものについては、〔 〕書きで、令和2年度の数値を掲載しました。

- 3 南島原市教育振興基本計画の指標（数値目標）があるものについては、【指標】で令和4年度（平成34年度）までの目標指数を記載しました。

教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について

今なお、新型コロナウイルス感染症の影響は大きなものがありますが、令和3年度において、本市教育委員会では、市内小・中学校の児童・生徒の健康、安全・安心を最優先に、それぞれの学校で工夫した感染症対策を行いながら学校行事を実施いたしました。

また、教育委員会の各種行事や事業につきましても、感染症対策を徹底し、できるだけ開催できるように取り組んできたところです。

このような昨年度（令和3年度）の所管事務について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、自己点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成しました。なお、学識経験者の知見の活用については、お二人にそれぞれ所見をいただきました。

自己点検及び評価に当たっては、客観的な視点に立って実施し、その結果、特筆すべき事項として次の点が挙げられます。

教育委員会の活動においては、ホームページによる詳細な会議録を毎回公開し、積極的な情報発信を行いました。さらに、総合教育会議を通じての活発な意見交換と学校訪問や研究発表会への参加により、市や学校との連携を図りました。

学校施設整備においては、校舎の耐震化及び小学校及び中学校の普通教室、音楽室、理科室及び家庭科室を基本とした3つの特別教室への空調整備については既に完了しております。今後は、南島原市内学校施設の中長期的な維持管理に係るトータルコストの縮減、予算の平準化及び学校施設に求められる機能・性能を確保するため策定した、「南島原市学校施設長寿命化計画」（令和元年度～令和38年度）に沿って、更なる安全性向上を図るための非構造部材耐震化改修工事を進めてまいります。老朽化した施設の維持管理については、大規模修繕とならないよう事前に投資する予防保全型の管理体制の足がかりとして、屋上屋根の防水工事を中心に整備改修を進めてまいります。

学校教育においては、確かな学力・豊かな心と志・健やかな体を育む教育の推進に努めました。学校数は、南島原市立小学校適正規模・適正配置実行計画に基づく小学校の統合及び分校の併合により、小学校15校（うち分校2校）と中学校8校となりましたが、教職員の負担を軽減し、個々の児童生徒にきめ細やかな対応ができるよう、必要に応じて相当数の学校支援員等を配置しました。また、教職員のスキルアップを図るための教職員研修「あかつき」の実施や計画的な学校訪問等を実施し、学校力の向上を目指しました。その他、生きるための学力と人間力の向上を狙った研究指定や、就学・教育支援、子どもの悩み相談事業等を展開するとともに、総合学習事業により、各学校の横断的、総合的な学習を支援しました。新学校給食センターについては、建築工事が完了し、2学期から給食の提供を開始しております。今後も、各事業を効果的・継続的に推進してまいります。

社会教育の推進においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民の安全、安心を第一に考え、放課後子ども教室「寺子屋21」後期教室や通学合宿事業などの青少年教育事

業をはじめ、子どもリーダー研修などの子ども会育成事業をやむを得ず中止したところです。県内及び市内の感染症の状況に応じた感染症対策を徹底したうえで、南島原市保護者支援士養成講座や親子体験型家庭教育学級、親育ち講座などの家庭教育支援に関わる地域人材の養成や乳幼児を持つ親の学習機会の充実に取り組みました。各地区の公民館事業においても、感染症対策を徹底したうえで、各種講座を実施し、学びの場を提供しました。また、感染症対策として、9施設の空調設備の整備を行いました。図書館事業では、6図書館2図書室の恵まれた環境を生かし、ステイホーム時の読書の利用推進に取り組みました。今後も家庭教育支援と子どもの健全育成を柱に、社会教育施設等における人生各期における学びの機会の充実と学びの成果を地域に還元できる持続可能な人材の育成に努めてまいります。

スポーツの振興においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむを得ず市綱引き大会や口加駅伝競走大会等のイベントを中止といたしました。また、昨年度に延期しました「第30回原城マラソン大会」につきましても、安全な大会運営ができないと判断し、令和3年度も延期といたしました。市内初の人工芝グラウンドを有する多目的運動広場が、令和4年2月に完成いたしました。この施設はスポーツ競技や健康づくりをはじめ多様なイベント・活動など多目的に利用できる施設として、市民の皆様が集い憩いの場所となることを目指して整備いたしました。今後は指定管理者である総合型地域スポーツクラブ「TEAM ひまわり」と連携し施設の活用を推進してまいります。また、子ども達を対象とした「マリンスポーツ教室」や「自然体験事業」は、感染症対策を徹底したうえで開催し、本市の自然環境を活かした郷土愛の醸成を図りました。今後も、新型コロナウイルス感染症の状況に応じた対策を講じながら、新しい生活様式を徹底したうえで、市民の健康増進とスポーツ競技力の向上及びスポーツによる交流人口の拡大を図り、地域の活性化につながる事業を図ってまいります。

文化財行政においては、国・県及び市指定文化財の保存・管理のための定期的な巡回や除草作業等の実施及び施設等の整備、資料館の修繕、収蔵品の燻蒸処理を行いました。今後も適切な維持・管理に努めるとともに、文化財の保存と活用に努めてまいります。また、国土交通省の砂防事業に伴う権現脇遺跡の整理調査や県営ほ場整備に伴う養台寺跡遺跡の発掘調査なども行いました。今後も遺跡の発掘調査を継続しながら、保存と記録を行ってまいります。国指定史跡原城跡及び日野江城跡については、普遍的な価値を有するかけがえのない文化財として維持管理に努め、調査・整備を進めてまいります。

世界遺産推進においては、世界遺産の価値をより広く伝えていくために、世界遺産の構成資産となっている原城跡の価値を伝えるためのパンフレットの配布や「原城 VR」の貸し出し、より多くの方が原城跡を快適に散策するためのレンタサイクルの貸し出しなどを実施するとともに、世界遺産の保存のための取り組みとして遺産影響評価や保全状況を世界遺産委員会に報告するためのモニタリングの実施と定期報告の準備などを実施しました。南島原市世界遺産市民協働会議におきましては、原城跡周辺の清掃などの環境保全活動を実施するとともに、世界遺産登録3周年を記念して、12月から3月にかけて企画展「幻日 - 島原天草一揆を描く 柏本隆太作品展 -」を開催するとともに、3月には多目的運動広場の完成に合わせて世界遺産登

録3周年記念イベントを開催するなど官民協働での取り組みを推進いたしました。

また、世界遺産推進のための重要施策として取り組んできた世界遺産関連施設整備事業につきましては、核となるガイダンス施設の展示計画や施設全体の整備構想を取りまとめたうえで、令和4年度から「南島原市原城跡世界遺産センター整備事業」として本格的に進めていくこととなりました。世界遺産センターは、世界遺産の価値を伝えるガイダンス施設としてだけでなく、地域の物産振興や観光振興面でも核となり得る施設として整備することとしており、関係部署や民間組織との連携を深めながら着実な事業の実施に向けて取り組みを進めてまいります。

令和4年9月

南島原市教育委員会

学識経験者の所見

「教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書 (令和3年度)事業分」についての所見

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務

1 教育委員会及び教育委員の活動

教育委員会会議は定例会が計画的に開催され、審議が必要な事項は遺漏なく行われており、会議の運営が適正であることが評価できる。

教育委員と事務局間における連絡調整はもとより、懸案事項等の十分な意見交換や検討・報告、更には総合教育会議において積極的な意見交換を行うなど、教育委員会と市とが連携強化に努めていることがうかがえる。

教育委員会の活動においては、地域住民の教育行政に関する理解と協力を得る観点から、会議開催の市民への周知を公告及びホームページを利用して行い、会議録も積極的にホームページ公開をし、教育委員会としての説明責任を十分に果たしていることが評価できる。

新型コロナウイルス感染症のため学校行事への参加はできなかったものの、教育委員会の責務として、教育現場である学校に積極的に足を運び、学校訪問や研究発表会への出席による的確な指導・支援を行い、学校をしっかりと支える教育委員会の姿勢を評価する。

2 教育委員会が管理又は執行する事務（教育長に委任できない事務）

平成25年度「南島原市教育振興基本計画」の策定から最終年度である令和4年度(2022年度)に向け、具体的な施策の着実な積み上げにより目標指数の達成に大いに期待したい。

県費負担教職員の懲戒並びに小・中学校やその他の教育機関の長の任免その他の進退についての内申に係る決定、教育委員会規則の制定改廃、教育予算、教科用図書の採択等広範囲にわたり慎重かつ厳正に職務が遂行されている。今後も公正な検討・審議をお願いしたい。

第2 教育委員会事務局の執行事務（教育委員会から教育長が委任されている事務）

1 教育環境の充実に関する事務

学校施設の耐震性の確保を図る整備工事をはじめ、小・中学校施設や社会教育施設・社会体育施設の老朽化等に伴う整備改修工事は、緊急性の高い案件を優先に計画的に進められていることが評価できる。

中でも、県立有馬商業高等学校跡地を活用し、令和3年1月から工事に着手していた「南島原市多目的運動広場」が令和4年2月に完成したことは、本市における生涯スポーツの振興に大きく寄与するものであり、評価できる。

今後は、新たに策定された「南島原市学校施設長寿命化計画」に沿って、更なる安全性の向上を図るための整備改修を執行していただきたい。

2 学校教育の推進に関する事務

本市では学校教育の充実に向け、「確かな学力」「豊かな心と志」「健やかな体」を育む教育を推進していくため、児童生徒の実態を踏まえた具体的な施策を講じ取り組まれている。

中でも、心身に障がいのある児童生徒に対する適切な就学支援や、特別支援教育助手の

配置により一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導による特別支援教育の充実が図られていることが評価できる。

また、新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な予測困難な時代において、子供たちも少なからず影響を受けていることは否めない。今後、不登校児童生徒数の減少に向け、心の教室相談員を活用し、更に校内における相談体制を整え、学校と家庭との連携強化に期待したい。

各学校に配置された学校支援員については、教職員の負担軽減が図られ、教職員の働き方改革の推進に向け徐々にその成果を収めていることがうかがえる。

人間教育研究指定小学校・中学校事業は、コロナ禍においても「生きるための学力と人間力の向上」をテーマに、児童生徒の実態を踏まえた特色ある研究が行われ、研究実績を挙げている。本事業は、学力の定着・向上はもとより教職員の資質・能力の向上につながるものとして評価できる。急激に変化する時代を生き抜くための「確かな学力」を身に付けた児童生徒を育成するため、更に喫緊の課題解決に向け本市独自の教職員研修の充実を図っていただきたい。

北村西望賞教育美術展・古野賞科学技術展は、本市の独自性を生かした素晴らしい取組で、本市小・中学校の美術教育並びに科学技術教育の振興に寄与している。今後とも児童生徒が美術や科学技術への興味関心を高め、秘めた可能性を開花できることを願っている。

新学校給食センターは令和3年6月に建設工事を完了し、9月から供用を開始しており学校給食関連設備整備事業の推進は十分に図られていることを評価する。本市の児童生徒に、安全・安心で美味しい学校給食が提供されていることは大変喜ばしいことである。

国のGIGAスクール構想に伴い、本市の課題であった1人1台端末が小学校1年生から3年生までの児童及び教師にも配備され、各学校では1人1台の端末環境を生かし、端末の日常的な活用がなされていることは一定の評価ができる。今後更にこの新たなICT環境を活用し、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても不安なく学習が継続できるよう、学校においては平常時から児童生徒や教師がICTを積極的に活用することが大切である。よって、教師の資質・能力の向上に向けた研修の充実を図り、学校教育の質の向上につなげていただきたい。

国際化の進展に対応し、広い視野と国際感覚をもった児童生徒の育成を目指し英語教育の充実を図るため、本市独自の取組として小学校に英語指導助手(EAT)が任用された。

令和2年度から新たに3人増加し6人の予定だったが、コロナ禍で入国できない状況が続いているため達成度が「未達成」であるのはやむを得ない。しかし、このような状況下にあるものの「南島原市イングリッシュ・パフォーマンスコンテスト」の実施、英語検定料等補助金事業の達成度も「概ね達成」と、大変素晴らしいことである。今後も英語指導助手(EAT)や外国語指導助手(ALT)を有効活用しながら、英語教育の更なる充実を期待したい。

3 社会教育の推進に関する事務

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、社会教育委員兼公民館運営審議会委員の活動や地域人材育成講座、地域教育力の充実を図るための様々な活動、アートビレッジ・シラキノ事業が「未達成」で、通学合宿事業や子ども会育成事業、芸能文化事業等は前年度に引き続き「未実施」となったことが自己点検・評価からうかがえる。しかし、新型コロナ感染防止対策のもと新しい生活様式を徹底したうえで、家庭教育支援の充実や成人教

育、人権教育、読書活動の推進に力点を置いた取組はしっかりと進められている。よって、このことから本市の目指す教育の柱である「豊かな心と志」を育む教育の推進が図られていることを評価する。

本市において令和3年10月、南有馬小学校並びに南有馬中学校のコミュニティ・スクールが設立され、南有馬地区地域学校協働本部が発足した。今後更に学校と保護者や地域住民がともに知恵を出し合い、学校運営に地域の声を生かし、地域と一体となって南有馬町ならではの特色ある学校づくりの推進に期待したい。

4 スポーツの振興に関する事務

本市のスポーツイベントは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため前年度同様そのほとんどが中止となった。しかし、そのような中、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、小学生水泳教室や自然体験事業「海ノート・山ノート」が実施されたことは意義あることである。今後もスポーツ団体と連携し、新生活様式を実践しつつ継続してスポーツの振興を図っていただきたい。特に、多目的運動広場の運用にあたっては、指定管理者となった「TEAM ひまわり」との連携のもと、市民への施設利用の働きかけ並びにスポーツを通して交流人口の拡大や地域の活性化につなげていただきたい。

5 文化財の保護活用に関する事務

口之津歴史民俗資料館や深江埋蔵文化財・噴火災害資料館の入館者数が減少傾向にあることは、コロナ禍が大きく影響を及ぼしていると言っても過言ではない。市民に対し企画展等の開催について市広報紙やSNSを活用し周知が図られている。今後更に新しい企画展開催等の改善策を講じることで来訪者が増加し、南島原市の歴史の啓発につながるものと期待できる。

指定文化財は保護・管理や巡回など定期的に行われている。近年の豪雨によりき損した原城跡及び日野江城跡の法面については、復旧工事が早急に行われていることから、世界遺産としての環境や景観の保全に努力されていることがうかがえる。

また、埋蔵文化財の発掘調査は計画的に実施され、必要に応じて調査報告書を刊行するなど記録として保存、整理がよくなされていることが評価できる。

本市の歴史ある数多くの貴重な文化財を、今後とも万全を期して保護し、普及活用に努めていただきたい。

6 世界遺産推進に関する事務

世界遺産の価値に関する情報提供については、コロナ禍においても「有馬歴史ガイド」と「原城VR」の活用及びシステムの拡充、レンタサイクルの貸し出しなど様々な工夫がなされていることが評価できる。世界遺産アクションプランに基づく取組として、世界遺産登録3周年記念イベントや企画展が開催され、成果を収めている。

世界遺産関連施設整備事業は、令和4年度から「南島原市原城跡世界遺産センター整備事業」として本格的に進めていくこととなる。世界遺産推進に向けた本事業の実施に大いに期待したい。

教育委員会の所管事務について、前年度より項目ごとに新たに加えられた達成度と評価の観点から、より詳細に自己点検・評価がなされている。教育委員会の各課より具体的な

説明を受け、業務の遂行に誠心誠意努め、説明責任をきちんと果たしていることをうかがい知ることができた。令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響はあるものの、未実施の事業は前年度よりやや減少傾向に転じて達成率が高まり、ほとんどの項目で継続の評価がなされていた。これもひとえに各課担当者の不断の努力によるもので、心より敬意を表したい。

現在コロナ禍にあり、急激に変化する予測困難な時代ではあるが、今後更なる本市教育行政の振興・発展のため、これまで積み上げてきた実績をもとに、より一層の創意工夫による事業の継続を願い、所見とする。

令和4年9月1日

山田恵子

「教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書 (令和3年度) 事業分」についての所見

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務

1 教育委員会及び教育委員の活動

新型コロナウイルス感染症対策を行いながら各種会議が計画的に実施されている。会議開催にあたっては、事前に資料を配付するなどきめ細やかな対応がなされている。そのため、会議は円滑で有効に開催されていることがうかがわれる。会議の結果については、会議資料と会議録を市のホームページに掲載して市民への周知が図られている。

また、コロナ禍ではあるが、感染症対策に配慮しながら学校訪問や研究発表会などに参加し、指導・支援が行われている。

2 教育委員会が管理又は執行する事務（教育長に委任できない事務）

「南島原市教育振興基本計画」の目的達成のための方針を立て、小・中学校や各種教育機関の長の任免及び、教職員の人事や進退に係る決定や教育委員会規則の制定改廃、教育予算等広範囲にわたる業務内容について慎重かつ公正に取り組みされており、「事例なし」以外の点検項目はすべて達成されている。

本市教育活性化の基盤となる業務内容であるので、今後とも確実な業務遂行をお願いしたい。

第2 教育委員会事務局の執行事務（教育委員会から教育長が委任されている事務）

1 教育環境の充実に関する事務

学校施設は児童・生徒が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常変災時には地域住民の緊急避難場所として、その安全性の確保は重要である。本年度は小学校2校、中学校4校の非構造部材耐震化改修工事が実施された。今後も更なる安全性の向上のために計画的に進めていただきたい。

また、社会教育施設、社会体育施設の整備についても計画的な取り組みが見られ、市民の生涯学習の場の提供がなされており、評価できる。特に、令和4年2月に完成した、市内初の人工芝グラウンドを有する「多目的運動広場」の活用について期待する。

2 学校教育の推進に関する事務

学校教育は「南島原市教育振興基本計画」に明示してあるように、「確かな学力・豊かな心と志・健やかな体」を育むことを目指して、各種施策が一貫して実施されている。

新入学児童支援事業や特別支援教育推進事業・子どもの悩み相談事業では、心身に障がいのある児童・生徒や不登校傾向にある児童・生徒及びその保護者に対してもきめ細かな配慮がなされ、一人一人の児童・生徒のニーズに対応する教育が推進されている。学校支援員配置事業については、2校未配置校があるものの一定の成果が見られる。今後未配置校がなくなることを期待する。

市教職員研修や人間教育研究指定事業は、学校現場で直接指導に当たる教職員の指導力の向上につながるとともに、児童・生徒の「生きるための学力と人間力の向上」に大いに寄与するものと期待できる。今後とも継続していただきたい。

北村西望賞教育美術展・古野賞科学技術展の開催は、本市独自の取組で、美術や科学に対する児童・生徒の興味・関心を高めるとともに絵画や彫塑・科学研究物への創作意欲を高めている。今後とも継続して開催してもらいたい。

語学指導外国青年招致事業については、6人の外国語指導助手（ALT）を市内全中学校に、市独自の英語指導助手（EAT）3人を市内全小学校に派遣している。さらに、英語検定料等補助金事業や南島原市イングリッシュ・パフォーマンスコンテストが実施されている。これらの事業は、これからの時代を生きる児童・生徒にとって、英語の習得や国際社会を理解するうえで大変効果的であると期待している。

学校給食については、新しい給食センターが令和3年9月から供用開始となった。今後とも安全・安心で美味しい給食が提供できるように一層の努力をお願いしたい。

ICT機器の整備については、市内全児童・生徒及び教師用のGIGAスクール対応教育用端末整備が終了したとのことである。今後はこれらの機器の効果的な活用に向けて地道に取り組んでいかれることを期待する。

3 社会教育の推進に関する事務

「社会教育委員兼公民館運営審議会委員の活動」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るために、思うような活動ができなかったことは残念である。今後はコロナ禍での活動のあり方の工夫・検討をお願いしたい。

「家庭教育支援の充実」での地域人材の育成については、南島原市保護者支援スキルアップ講座は実施されたが、家庭教育支援コアサポーター養成講座、家庭教育支援プログラムファシリテーター養成講座は新型コロナウイルス感染症のため中止されたのは残念である。今後はコロナ禍での講座のあり方の工夫・検討をお願いしたい。家庭教育支援に関するネットワークの構築については、わくわく広場における講座が14講座、140人の受講者を対象に開催された他、情報提供や相談支援がなされたのは、関係各位の努力によるもので評価できる。

「地域教育力の充実」では、これからの学校と地域の目指すべき姿として、南有馬小学校並びに南有馬中学校のコミュニティ・スクール(学校運営協議会)が設立され、南有馬地区地域学校協働本部が発足した。南有馬地区の実情に応じた児童・生徒のよりよい教育を期待する。

「芸術文化の振興」では、本市の特性を生かしたセミナーヨ現代版画展やアートビレッジ・シラキノ事業は、市民に心の豊かさやうるおいを与えるものとなっている。新型コロナウイルス感染症を配慮しながら、今後もなんとか工夫して開催してもらいたい。

「読書活動の推進」では、コロナ禍ではありながら、読書活動推進を図る図書館司書活用や図書館教室開催ができたことは関係各位の努力によるもので感謝するとともに今後の活動にも大いに期待する。

4 スポーツの振興に関する事務

「スポーツイベントの開催」については新型コロナウイルス感染症のため11事業のうち7事業が中止に追い込まれた。そのような中で新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで実施できたのが「小学生水泳教室」、自然体験事業「海ノート・山ノート」、「マリンスポーツ教室」、「市民スポーツ大会」である。関係各位の努力に敬意を表したい。

「スポーツ団体との連携」については、令和4年2月に完成した「多目的運動広場」の

指定管理者となった総合型地域スポーツクラブ「TEAM ひまわり」と連携し、施設の活用とスポーツの推進が図られることを期待する。

今後コロナ禍でのスポーツイベントの開催について工夫・検討をしていただきたい。

5 文化財の保護活用に関する事務

「資料館等の維持・管理」については、資料の整理や修繕等がなされている。コロナ禍の影響もあり資料館への入館者数が減少している。今後は新しい企画展等の開催で資料館への入館者数が増加することを期待する。

「指定文化財の保護・管理」については除草作業などが定期的に巡回を兼ねて行われている。また、近年の豪雨による原城跡及び日野江城跡の災害に対しても復旧工事が迅速になされ、目標はおおむね達成できている。

「埋蔵文化財の発掘調査」は17件行われ、13件達成し完了している。改めて市内の埋蔵文化財の多さに気づくとともに、積極的に発掘調査される関係各位の努力に感謝する。

「史跡原城跡・日野江城跡専門委員会」では、原城跡整備基本計画の改訂が文化庁からの意見を反映させ、より充実した計画になることを期待する。

6 世界遺産推進に関する事務

「世界遺産の価値に関する適切な情報提供」については、パンフレットの配布や原城VRの活用の他、レンタサイクルの貸し出しなどいろいろと工夫されている。その成果がコロナ禍でありながら令和3年度来訪者数が25,693人に示されている。今後も一層工夫した情報提供を期待する。

「世界遺産アクションプランに基づく取組の展開」については、南島原市世界遺産市民協働会議による取組が大きいと考えられる。今後とも関係自治体との連携を図りながら市民とともに活動されることを期待する。

教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書(令和3年度分)については、新型コロナウイルス感染症のため、当初計画していた事業が中止になったものがあり残念である。

しかし、コロナ禍でありながら、関係各位の努力と工夫で事業を実施し、目標を達成したものも多くあり評価できる。

教育委員会の各所管課室からの説明を聞き、自己評価の結果は妥当であると感じた。これまでの担当者の努力に敬意を表する。今後もコロナ禍ではあるが南島原市民のために一層の努力と創意・工夫がなされることを期待し、所見とする。

令和4年9月1日

福田 收 作

自己点検・評価

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務

1 教育委員会及び教育委員の活動

(1) 教育委員会会議の運営及び情報発信

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>① 会議の開催回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 審議が必要な事項については漏れなく行われており、会議回数も適正であった。定例会を12回〔12回〕(月1回)、臨時会を0回〔2回〕実施した。教育委員会に提案した議案等は、総数49件〔60件〕あった。 	達成	継続
<p>② 広報・広聴活動の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育委員会の定例会及び臨時会開催の市民への周知は、公告及びホームページを利用して行った。教育委員会の会議録については、ホームページによる公開を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ公開・・・12回〔14回〕 	達成	継続

(2) 教育委員と事務局との連携

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育委員と事務局間において、年間を通じて重要事項となっていることについて、確実に連絡調整を行った。 ○ 教育委員会の議題のうち議案に関しては、教育委員が議案の検討を事前に十分行うことができるよう会議日以前に教育委員へ資料を送付した。 ○ 懸案事項等についても、教育委員会会議の所管事項で報告し、諸問題に係る意見交換や検討・報告を十分に行った。 	達成	継続

(3) 教育委員会と市との連携

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合教育会議において、積極的な意見交換を行い、教育委員会と市との連携を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・総合教育会議・・・1回〔1回〕開催 ・協議内容 <ul style="list-style-type: none"> ①学力向上対策について ②給食費の支援について ③成人年齢引き下げに伴う成人式の実施方法について ④長崎県立大学との包括連携協定について 	達成	継続

(4) 教育機関等との連携

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>① 学校への訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校訪問は学校の教育環境の実態を把握し、必要に応じて改善の手立てを講じることが狙いである。原則として3年で全校を訪問することとしており、教育委員会としての責務により、学校訪問を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問校数・・・小学校3校〔3校〕、中学校2校〔2校〕 ○ 教育委員は、学校訪問の他に研究発表会にも事務局と連携して出席した。(入学式などの式典へは、新型コロナウイルス感染症のため不参加) 	達成	継続
<p>② その他施設への訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各施設で行われる行事等へは、新型コロナウイルス感染症のため多くが不参加となったが、成人式、多目的運動広場落成式には出席できた。 	達成	継続

(5) 教育委員の研修等

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価												
<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症のため外部研修会等の多くが中止となったため、自己研鑽に努めた。 また、新しい情報や懸案事項等については、その都度、教育委員会の会議の場において議題にするなど、一定の情報の共有化を図った。 <p>〔活動内容〕</p> <p>教育長・・・ 長崎県都市教育長協議会及び県・市町合同研修会に参加し、県及び各市町の教育長との情報交換、懸案事例の検証等を行った。</p> <p>教育委員・・・ 教育委員が参加する研修は全て中止となった。</p>	達成	継続												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>全国対象</th> <th>九州内対象</th> <th>県内対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加回数</td> <td>0回〔0回〕</td> <td>0回〔0回〕</td> <td>4回〔1回〕</td> </tr> <tr> <td>参加延べ人数</td> <td>0人〔0人〕</td> <td>0人〔0人〕</td> <td>4人〔1人〕</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	全国対象	九州内対象	県内対象	参加回数	0回〔0回〕	0回〔0回〕	4回〔1回〕	参加延べ人数	0人〔0人〕	0人〔0人〕	4人〔1人〕		
区 分	全国対象	九州内対象	県内対象											
参加回数	0回〔0回〕	0回〔0回〕	4回〔1回〕											
参加延べ人数	0人〔0人〕	0人〔0人〕	4人〔1人〕											

2 教育委員会が管理又は執行する事務（教育長に委任できない事務）

（1）教育行政運営に関する一般方針の決定

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 「南島原市教育振興基本計画」を策定しており、その計画に沿った目的を達成するために一般方針を随時決定した。	達成	継続

（2）学校その他教育機関の設置又は廃止の決定

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 事例なし	—	継続

（3）県費負担教職員の懲戒並びに小学校長及び中学校長の任免その他の進退についての内申

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 任免その他の進退についての内申に係る決定は、教育委員会会議の中で遺漏なく審議した。 ・教職員の人事内申	達成	継続

（4）教育次長、課長及びその他の教育機関（小学校及び中学校を除く）の長の任免

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 任免その他の進退に係る決定は、教育委員会会議の中で遺漏なく審議した。 ・事務局職員の人事に係る審議 （地方教育行政の組織及び運営に関する法律第18条第7項の規定による）	達成	継続

（5）学校その他の教育機関の敷地の選定及び変更の決定

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 事例なし	—	継続

（6）教育委員会規則の制定又は改廃

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 必要な規則等の制定改廃については、遅滞なく、漏れなく審議した。 ・規則、要綱、規程の制定改廃議案・・・14件〔19件〕	達成	継続

（7）教育予算その他議会の議決を経るべき事件の議案に関する意見

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 必要な案件については、漏れなく審議した。 ・条例議案・・・条例制定0件〔1件〕 条例改正4件〔6件〕 ・契約議案・・・請負契約0件〔6件〕 財産取得1件〔4件〕 ・予算議案・・・当初予算案1件〔1件〕 補正予算案7件〔8件〕	達成	継続

(8) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 必要な審議については、遅滞なく、漏れなく実施した。 ・委員の任命等議案・・・11件〔11件〕	達成	継続

(9) 教科用図書の採択に関する基本方針の決定

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 中学校用教科書社会（歴史分野）において、1社の教科書が、一旦、文部科学大臣の検定審査不合格となったものの、再申請した後、検定合格を経て令和3年度に発行されることとなったが、採択替えを行わないことを決定した。	達成	継続

(10) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域の設定又は変更の決定

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 事例なし	—	継続

(11) 市文化財の指定又は指定の解除の決定

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 事例なし	—	継続

(12) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定による教育委員会の権限に属する事務についての点検及び評価並びに公表

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 自己点検及び評価を行い、その報告書を議会へ提出し、ホームページで公表した。 点検及び評価を行うに当たって、検討会議を2回開催し、学識経験者の知見の活用を図ることができた。	達成	継続

第2 教育委員会事務局の執行事務(教育委員会から教育長が委任されている事務)

1 教育環境の充実に関する事務

(1) 小・中学校の耐震性の確保を図る整備工事

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価																		
<p>○ 学校施設は児童生徒が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常変災時には地域住民の緊急避難場所として、今後は市と更なる連携をして整備を行っていく必要があり、その安全性の確保は極めて重要である。</p> <p>校舎及び体育館の耐震補強工事は平成26年度で終了したが、学校施設の更なる安全性向上を図るため、小学校2校、中学校4校の非構造部材耐震化改修工事を実施した。</p> <p>今後も、小・中学校の非構造部材耐震化改修工事を計画的に進めていく予定である。</p> <p>○ 小・中学校の非構造部材耐震化改修工事・・・計7件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>工事費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南有馬小学校校舎内部改修工事(1期)(R2線)</td> <td>24,481,600</td> </tr> <tr> <td>深江小学校吊り照明改修工事(R2線)</td> <td>9,493,000</td> </tr> <tr> <td>深江小・中学校屋内運動場改修工事(小学校分)(R2線)</td> <td>36,682,800</td> </tr> <tr> <td>加津佐中学校吊り照明改修工事(R2線)</td> <td>11,281,600</td> </tr> <tr> <td>口之津中学校屋内運動場改修工事(R2線)</td> <td>48,374,700</td> </tr> <tr> <td>北有馬中学校吊り照明改修工事(R2線)</td> <td>13,472,800</td> </tr> <tr> <td>深江小・中学校屋内運動場改修工事(中学校分)(R2線)</td> <td>39,091,800</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>182,878,300</td> </tr> </tbody> </table>	工事名称	工事費(円)	南有馬小学校校舎内部改修工事(1期)(R2線)	24,481,600	深江小学校吊り照明改修工事(R2線)	9,493,000	深江小・中学校屋内運動場改修工事(小学校分)(R2線)	36,682,800	加津佐中学校吊り照明改修工事(R2線)	11,281,600	口之津中学校屋内運動場改修工事(R2線)	48,374,700	北有馬中学校吊り照明改修工事(R2線)	13,472,800	深江小・中学校屋内運動場改修工事(中学校分)(R2線)	39,091,800	合計	182,878,300	達成	継続
工事名称	工事費(円)																			
南有馬小学校校舎内部改修工事(1期)(R2線)	24,481,600																			
深江小学校吊り照明改修工事(R2線)	9,493,000																			
深江小・中学校屋内運動場改修工事(小学校分)(R2線)	36,682,800																			
加津佐中学校吊り照明改修工事(R2線)	11,281,600																			
口之津中学校屋内運動場改修工事(R2線)	48,374,700																			
北有馬中学校吊り照明改修工事(R2線)	13,472,800																			
深江小・中学校屋内運動場改修工事(中学校分)(R2線)	39,091,800																			
合計	182,878,300																			

(2) 小・中学校の整備改修

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価																						
<p>○ 小・中学校施設及び設備の老朽化等に伴い、下記施設の整備改修工事を行った。</p> <p>本年度は、小学校施設の整備改修工事15件、中学校施設の整備改修工事1件の計16件について、工事を実施した。</p> <p>○ 小学校施設の整備改修工事・・・計15件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>工事費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有家小学校さく井工事(R3線)</td> <td>20,641,500</td> </tr> <tr> <td>加津佐小学校給食配膳室改修工事</td> <td>7,542,700</td> </tr> <tr> <td>加津佐小学校高圧受電設備改修工事</td> <td>10,511,600</td> </tr> <tr> <td>加津佐小学校校舎2階男子トイレ幼児用洋便器他改修工事</td> <td>873,400</td> </tr> <tr> <td>野田小学校給食配膳室改修工事</td> <td>220,000</td> </tr> <tr> <td>口之津小学校給食配膳室改修工事</td> <td>1,048,300</td> </tr> <tr> <td>口之津学校給食センター食器洗浄機等撤去工事</td> <td>627,000</td> </tr> <tr> <td>南有馬小学校駐車場整備工事</td> <td>3,572,800</td> </tr> <tr> <td>有馬小学校保健室シャワー改修工事</td> <td>671,000</td> </tr> <tr> <td>有家小学校グラウンド整備工事(完成払い)</td> <td>78,079,800</td> </tr> </tbody> </table>	工事名称	工事費(円)	有家小学校さく井工事(R3線)	20,641,500	加津佐小学校給食配膳室改修工事	7,542,700	加津佐小学校高圧受電設備改修工事	10,511,600	加津佐小学校校舎2階男子トイレ幼児用洋便器他改修工事	873,400	野田小学校給食配膳室改修工事	220,000	口之津小学校給食配膳室改修工事	1,048,300	口之津学校給食センター食器洗浄機等撤去工事	627,000	南有馬小学校駐車場整備工事	3,572,800	有馬小学校保健室シャワー改修工事	671,000	有家小学校グラウンド整備工事(完成払い)	78,079,800	達成	継続
工事名称	工事費(円)																							
有家小学校さく井工事(R3線)	20,641,500																							
加津佐小学校給食配膳室改修工事	7,542,700																							
加津佐小学校高圧受電設備改修工事	10,511,600																							
加津佐小学校校舎2階男子トイレ幼児用洋便器他改修工事	873,400																							
野田小学校給食配膳室改修工事	220,000																							
口之津小学校給食配膳室改修工事	1,048,300																							
口之津学校給食センター食器洗浄機等撤去工事	627,000																							
南有馬小学校駐車場整備工事	3,572,800																							
有馬小学校保健室シャワー改修工事	671,000																							
有家小学校グラウンド整備工事(完成払い)	78,079,800																							

有家小学校植栽工事	284,900
堂崎小学校バックネット他取替工事	184,800
布津小学校校舎照明改修工事	13,609,200
深江小学校他給食配膳室改修工事	1,551,000
小林小学校給食配膳室改修工事	405,900
小 計	139,823,900

○ 中学校施設の整備改修工事・・・計1件

工 事 名 称	工事費 (円)
南有馬中学校消防設備改修工事	4,792,700
小 計	4,792,700
合 計	144,616,600

(3) 社会教育施設・社会体育施設の整備改修

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評 価																														
<p>○ 社会教育施設、社会体育施設の老朽化等に伴い、下記施設の整備改修を行った。</p> <p>当初計画していた緊急性の高い22件と、年度途中で発生した6件、計28件について、整備改修を実施した。</p> <p>○ 社会教育施設の整備改修工事・・・計13件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 事 名 称</th> <th>工事費 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ありえコレジヨホール駐車場整備工事</td> <td>617,100</td> </tr> <tr> <td>ありえコレジヨホール自動火災報知機設備更新</td> <td>3,426,500</td> </tr> <tr> <td>ありえコレジヨホールホール用ワイレスマイク設備更新</td> <td>1,527,900</td> </tr> <tr> <td>ありえコレジヨホール空調設備冷温水循環ポンプ改修</td> <td>1,287,000</td> </tr> <tr> <td>原城オアシスセンター空調改修工事</td> <td>25,705,900</td> </tr> <tr> <td>西有家カムス 3F 視聴覚室系統空調機整備</td> <td>6,763,900</td> </tr> <tr> <td>堂崎公民館事務室空調改修工事</td> <td>3,823,600</td> </tr> <tr> <td>口之津公民館 2階講堂空調改修工事</td> <td>8,243,400</td> </tr> <tr> <td>加津佐公民館 2階講座室空調改修工事</td> <td>1,736,900</td> </tr> <tr> <td>西有家図書館空調改修工事</td> <td>10,081,500</td> </tr> <tr> <td>口之津図書館照明器具取替工事</td> <td>1,461,900</td> </tr> <tr> <td>口之津図書館空調設備取替工事</td> <td>2,046,000</td> </tr> <tr> <td>原城図書館空調改修工事</td> <td>3,349,500</td> </tr> <tr> <td>小 計</td> <td>70,071,100</td> </tr> </tbody> </table>	工 事 名 称	工事費 (円)	ありえコレジヨホール駐車場整備工事	617,100	ありえコレジヨホール自動火災報知機設備更新	3,426,500	ありえコレジヨホールホール用ワイレスマイク設備更新	1,527,900	ありえコレジヨホール空調設備冷温水循環ポンプ改修	1,287,000	原城オアシスセンター空調改修工事	25,705,900	西有家カムス 3F 視聴覚室系統空調機整備	6,763,900	堂崎公民館事務室空調改修工事	3,823,600	口之津公民館 2階講堂空調改修工事	8,243,400	加津佐公民館 2階講座室空調改修工事	1,736,900	西有家図書館空調改修工事	10,081,500	口之津図書館照明器具取替工事	1,461,900	口之津図書館空調設備取替工事	2,046,000	原城図書館空調改修工事	3,349,500	小 計	70,071,100	達成	継続
工 事 名 称	工事費 (円)																															
ありえコレジヨホール駐車場整備工事	617,100																															
ありえコレジヨホール自動火災報知機設備更新	3,426,500																															
ありえコレジヨホールホール用ワイレスマイク設備更新	1,527,900																															
ありえコレジヨホール空調設備冷温水循環ポンプ改修	1,287,000																															
原城オアシスセンター空調改修工事	25,705,900																															
西有家カムス 3F 視聴覚室系統空調機整備	6,763,900																															
堂崎公民館事務室空調改修工事	3,823,600																															
口之津公民館 2階講堂空調改修工事	8,243,400																															
加津佐公民館 2階講座室空調改修工事	1,736,900																															
西有家図書館空調改修工事	10,081,500																															
口之津図書館照明器具取替工事	1,461,900																															
口之津図書館空調設備取替工事	2,046,000																															
原城図書館空調改修工事	3,349,500																															
小 計	70,071,100																															

○ 社会体育施設の整備改修工事・・・計15件

工 事 名 称	工事費 (円)
みそ五郎の森総合運動公園改修工事	15,639,800
多目的広場整備工事(1工区)(R3支出分・債務負担)	73,246,800
多目的広場整備工事(2工区)(R3支出分・債務負担)	82,089,500
多目的広場整備工事(3工区)(R3支出分・債務負担)	39,052,100
多目的広場整備工事(4工区)(R3支出分)	71,206,300
多目的広場整備工事(5工区)(R3支出分)	91,523,300
多目的広場整備工事(6工区)(R3支出分)	91,901,700
多目的広場整備工事(電気)(R3支出分・債務負担)	65,402,000
多目的広場管理棟新築工事(R3支出分・債務負担)	61,231,500
多目的広場屋外トイレ等改修工事(R3支出分・債務負担)	10,480,600
多目的広場屋内交流広場新築工事(R3支出分)	77,964,700
その他工事(4件)	2,870,285
小 計	682,608,585
合 計	752,679,685

2 学校教育の推進に関する事務

(1) 新入学児童支援事業（教育支援委員会）

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>○ 本市に居住する心身に障がいのある児童生徒(就学前の幼児を含む)に対し、それぞれの能力に応じた教育が受けられるよう、その判定と就学支援の適正を期して、教育委員会の諮問に応じて、その結果を答申し、適切な就学支援を行った。</p> <p>開催期日・・・7月7日(水)、11月10日(水)</p> <p>開催場所・・・南有馬庁舎大会議室</p> <p>出席者・・・教育支援委員13人、教育長他4人、計17人</p> <p>審議件数・・・100件〔95件〕</p>	達成	継続

(2) 特別支援教育推進事業（特別支援教育助手の配置）

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>○ 特別支援教育助手は、特別な配慮を要する児童生徒に対し、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導ができるように配置した。</p> <p>特別支援教育助手の配置によって、学校・保護者との連携が十分に図られ、児童生徒の状況に応じた学習指導、生徒指導及び生活指導、進路指導等への適切な支援ができた。</p> <p>○ 配置状況</p> <p>配置人数・・・34人〔35人〕【35人】</p> <p>配置学校数・・・21校〔23校〕 (11校〔11校〕は2人配置、1校は3人配置)</p> <p>年間勤務日数・・・190日</p>	達成	継続

(3) 子どもの悩み相談事業（心の教室相談員の配置）

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>○ 心の教室相談員は、悩み等を持つ児童生徒の相談を専門的に受けたり、ストレスを和らげたりすることができる第三者的な存在であり、校内における相談体制を整えるために配置した。</p> <p>不登校児童生徒数については、小・中学生とも前年に比べ減少はしているものの、設定目標に達しておらず、心の教室相談員との連携を更に深めていく必要がある。</p> <p>また、適応指導教室「つばさ」に施設指導員3人〔6人〕を配置し、個別に適応指導を進めており、児童生徒7人が通級し、卒業生3人〔2人〕が高等学校に進学する等の成果をあげた。</p> <p>○ 配置状況</p> <p>配置人数・・・16人〔17人〕</p> <p>年間勤務日数・・・心の教室相談員140日 適応指導教室指導員200日</p> <p>○ 不登校児童生徒数</p> <p>小学校・・・7人(全体の0.35%)〔2人(全体の0.09%)〕</p> <p>中学校・・・31人(全体の2.90%)〔25人(全体の2.22%)〕</p> <p>計・・・38人(全体の1.24%)〔27人(全体の0.90%)〕</p>	概ね達成	継続

(4) 学校支援員配置事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>○ 学校支援員は、小・中学校の教育活動に際し、教職員の業務支援を行うことにより、教職員がより児童・生徒への指導や教材研究等に尽力できるようにするために配置しており、教職員の負担軽減が図られ、個に応じた指導や教員の働き方改革の推進に寄与した。しかし、学校支援員を全校に配置できなかったのが課題である。</p> <p>○ 配置状況 配置人数・・・19人〔20人〕 配置学校数・・・19校〔20校〕 年間勤務時間数・・・760時間</p>	概ね達成	継続

(5) 市教職員研修「あかつき」

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>○ 南島原市の教育の在り方の実現を目指して、南島原市における喫緊の教育課題や教職員のニーズに応じた実践的な研修を行うことで、高い専門性と豊かな人間性をもった品格ある教職員を育成し、学校力の向上を図ることをねらいとしている。学力向上、授業改善、特別支援教育等をテーマとした研修を計画し、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、すべて実施した。</p> <p>○ 実施内容 開設講座の種類・・・5種類〔2種類〕 実施講座数・・・・・・11講座〔2講座〕 受講対象者・・・・・・全教職員</p> <p>○ 講座終了後のアンケート結果（ねらいに基づく構成や運営がなされたか。） よかった・・・・・・49.8%〔47.4%〕 ややよかった・・・・38.5%〔47.4%〕 やや悪かった・・・・10.9%〔5.3%〕 悪かった・・・・・・0.9%〔0%〕</p>	達成	継続

(6) 北村西望賞教育美術展・古野賞科学技術展

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>○ 南島原市の出身で名誉市民である北村西望氏、同じく名誉市民である古野清孝氏、古野清賢氏兄弟の功績を称え、本市小・中学校の美術教育並びに科学技術教育の振興を図ることを目的として開催した。 11月12日(金)～14日(日)に展覧会を開催し、14日には表彰式を開催した。 来場者数・・・922人〔817人〕</p> <p>○ 北村西望賞教育美術展入賞数 総出品数469点〔496点〕【420点】 西望賞・・・小学生 4点、中学生2点〔小学生4点、中学生2点〕 奨励賞・・・小学生12点、中学生6点〔小学生12点、中学生6点〕 特選・・・小学生52点、中学生13点〔小学生60点、中学生13点〕</p> <p>○ 古野賞科学技術展入賞数 総出品数 121点〔127点〕【120点】 古野賞・・・小学生 1点、中学生 1点〔小学生1点、中学生1点〕 優秀賞・・・小学生 2点、中学生 1点〔小学生2点、中学生1点〕 奨励賞・・・小学生 6点、中学生 3点〔小学生6点、中学生2点〕</p>	達成	継続

(7) 人間教育研究指定小学校事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生きるための学力と人間力の向上」をテーマに、先進的な研究を行った。 ○ 指定期間・・・2年間 ○ 指定校・・・加津佐小学校（令和2～令和3年度） ・・・飯野小学校（令和3～令和4年度） ○ 研究費・・・指定校に研究費として年間10万円の市費助成を行った。 ○ 研究実績 研究発表会の開催 加津佐小学校・・・11月19日（金） 2年次 本発表 飯野小学校・・・11月24日（水） 1年次 中間発表（指導のみ） 研究紀要の作成・配布 加津佐小学校・・・11月19日（金） 2年次 本発表時 	達成	継続

(8) 人間教育研究指定中学校事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生きるための学力と人間力の向上」をテーマに、先進的な研究を行った。 ○ 指定期間・・・2年間 ○ 指定校・・・南有馬中学校（令和2～3年度） ○ 研究費・・・指定校に研究費として年間10万円の市費助成を行った。 ○ 研究実績 研究発表会の開催 南有馬中学校・・・11月1日（月） 2年次 本発表 研究紀要の作成・配布 南有馬中学校・・・11月1日（月） 2年次 本発表時 	達成	継続

(9) 総合学習事業（小学校）

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各小学校の「総合的な学習の時間」の実施に当たっては、各校において計画的かつ効果的な活動がなされるよう、総合学習事業予算を配当した。 令和3年度においても、横断的、総合的な学習を、各校が創意工夫して実施することができた。 ○ 決算額・・・1,044,691円〔924,132円〕 (1校平均80,361円)〔61,609円〕 ○ 実施学校数・・・13校〔15校〕 	達成	継続

(10) 総合学習事業（中学校）

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各中学校の「総合的な学習の時間」の実施に当たっては、各校において計画的かつ効果的な活動がなされるよう、総合学習事業予算を配当した。 令和3年度においても、横断的、総合的な学習を、各校が創意工夫して実施することができた。 ○ 決算額・・・540,455円〔485,267円〕 (1校平均67,557円)〔60,659円〕 ○ 実施学校数・・・8校〔8校〕 	達成	継続

(11) 語学指導外国青年招致事業（外国語指導助手等の配置）

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>○ 市内中学校に6人の外国語指導助手（ALT）を配置し、中学校英語科の授業の充実を図った。直接ALTと触れ合うことで、生徒の発音・発声の習得や国際理解教育の推進に大きく寄与した。</p> <p>また、英語指導助手（EAT）6人を配置する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、新規EAT3人が入国できず、3人配置となった。</p> <p>○ 配置状況</p> <p>（ALT）</p> <p>配置人数・・・6人〔6人〕【6人】</p> <p>配置校・・・6校（深江中、布津中、有家中、西有家中、北有馬中、加津佐中）</p> <p>派遣校・・・2校、1園（南有馬中、口之津中、北有馬こども園）</p> <p>（EAT）</p> <p>配置人数・・・3人〔6人〕【6人】</p> <p>派遣校・・・全小学校</p>	未達成	継続

(12) 学校給食関連設備整備事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>○ 南島原市総合計画に基づき、自校方式調理場の段階的解消に向けて取り組んだ結果、令和3年9月にこれまでの施設を統合する新たな学校給食センターを建設、供用を開始した。</p> <p>学校給食センター建設について、令和2年度に着工した新築工事に加え、厨房機器（1～2工区）、配送車（8台）、食缶（5種類）及び厨房消耗品（1～7工区）の購入を行い、試験調理、プレ給食を経て、事業の推進を図った。</p> <p>○ 納品 厨房機器4月、配送車8月、食缶6月、厨房消耗品7月</p> <p>○ 試験調理 8月11日</p> <p>○ プレ給食 8月20日</p> <p>○ 供用開始 9月1日</p>	達成	完了

(13) 南島原市立小学校適正規模・適正配置事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>○ 有家ブロック小学校（3校）の統合については、「有家ブロック小学校統合実施計画」を策定し、令和2年度中に統合準備委員会を開催し、令和3年4月1日に有家小学校、蒲河小学校、新切小学校を統合し、（新）有家小学校を開校した。</p>	達成	継続

(14) ICT機器の整備

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>○ 国のGIGAスクール構想に伴い、学校の通信環境及び1人1台端末を整備し、小・中学校の授業改善を進め、児童生徒の学力向上を図った。</p> <p>評価については、市内全児童生徒及び教師用の端末整備が終了したため、完了とした。</p> <p>GIGAスクール対応教育用端末購入 （小学校970台・中学校51台）… 58,633,850円</p>	達成	完了

(15) 中体連補助事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>○ 体育の振興を図りその活動を支援するため、南島原市中学校体育連盟に対し中体連運営補助、部活動補助、大会出場補助等の経費の支援を行った。</p> <p>運動部活動数・・・74部 県中総体・・・7校22件 九州中総体・・・3校3件 全国中総体・・・2校2件 県新人大会・・・4校15件 九州新人大会・・・0件</p>	達成	継続

(16) 英語検定料等補助金事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価																																							
<p>○ 市内の小・中学校に在籍する児童生徒に対し、英語力及び学習意欲の向上を図ることを目的に、公益財団法人日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定（英検及び英検 Jr. 学校版）を受験する児童生徒の保護者に対し、南島原市英語検定料等補助金を交付した。10月には学校教育課主催で、小学5・6年生を対象に英検（5級）を実施した。1月には小学生全学年を対象に英検 Jr. 学校版を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止となった。</p> <p>○ 英検受験者数・・・430人（小学生98人、中学生332人）</p> <p>○ 英検受験状況</p> <p>小学校</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>5 級</th> <th>4 級</th> <th>3 級</th> <th>準2級</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合格者数</td> <td>42人</td> <td>16人</td> <td>6人</td> <td>0人</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td>受験者数</td> <td>62人</td> <td>27人</td> <td>8人</td> <td>1人</td> <td>98人</td> </tr> </tbody> </table> <p>中学校</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>5 級</th> <th>4 級</th> <th>3 級</th> <th>準2級</th> <th>2級</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合格者数</td> <td>68人</td> <td>79人</td> <td>91人</td> <td>23人</td> <td>0人</td> <td>261人</td> </tr> <tr> <td>受験者数</td> <td>78人</td> <td>107人</td> <td>102人</td> <td>42人</td> <td>3人</td> <td>332人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 決算額</p> <p>小学校・・・224,200円 中学校・・・1,064,100円</p>		5 級	4 級	3 級	準2級	計	合格者数	42人	16人	6人	0人	64人	受験者数	62人	27人	8人	1人	98人		5 級	4 級	3 級	準2級	2級	計	合格者数	68人	79人	91人	23人	0人	261人	受験者数	78人	107人	102人	42人	3人	332人	概ね達成	継続
	5 級	4 級	3 級	準2級	計																																				
合格者数	42人	16人	6人	0人	64人																																				
受験者数	62人	27人	8人	1人	98人																																				
	5 級	4 級	3 級	準2級	2級	計																																			
合格者数	68人	79人	91人	23人	0人	261人																																			
受験者数	78人	107人	102人	42人	3人	332人																																			

(17) 南島原市イングリッシュ・パフォーマンスコンテスト

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>○ 教科書等の身近な英文の暗唱等、日頃培ってきた英語学習の成果を発表する場を設定することにより、市内中学生の英語に対する興味・関心を高め、英語による表現力の育成・強化を行った。</p> <p>12月25日（土）に開催し、最優秀賞1人が本市代表として、1月15日（土）に行われた県大会に出場した。</p> <p>参加者数・・・14人</p>	達成	継続

3 社会教育の推進に関する事務

(1) 社会教育委員兼公民館運営審議会委員の活動

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価												
<p>① 会議の開催</p> <p>○ 社会教育委員兼公民館運営審議会会議を年1回（例年4回開催しているが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため1回）開催し、教育委員会が計画する事業の説明や事業の進捗状況、実績について報告を行った。</p> <p>実践する社会教育委員を目指し、生涯学習課が主催する事業へ参加し、事業の意義や問題点などに対する指導や助言を行うこととした。</p> <p>また、外部研修会等に参加した委員から、研修内容の報告を受け、研修成果について委員相互の共有化を図るため、報告資料を全委員へ送付した。</p> <p>課題である社会教育委員の資質向上と活動充実を図ることを目的とした研究協議は、感染拡大防止に伴う会議の縮小により具体的な協議までは至らなかった。</p> <p>今後も、提言書「潤いとつながりのある地域教育力向上を図る」の具現化に向けた取組について協議を行っていくこととした。</p> <p>○ 第1回 12月27日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度社会教育事業実績について ・令和4年度社会教育事業計画について ・令和4年度研修・大会計画について 	未達成	継続												
<p>② 委員の研修</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症のため社会教育並びに公民館関係の研究大会が中止、ならびに県研修会においても中止となり社会教育委員兼公民館運営審議会委員としての意識向上と自己研鑽は図れなかった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>九州地区研究大会</th> <th>県研究大会</th> <th>県研修会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加回数</td> <td>1回〔0回〕</td> <td>0回〔中止〕</td> <td>0回〔1回〕</td> </tr> <tr> <td>参加延べ人数</td> <td>5人〔一人〕</td> <td>0人〔一人〕</td> <td>0人〔2人〕</td> </tr> </tbody> </table>	区分	九州地区研究大会	県研究大会	県研修会	参加回数	1回〔0回〕	0回〔中止〕	0回〔1回〕	参加延べ人数	5人〔一人〕	0人〔一人〕	0人〔2人〕	未達成	継続
区分	九州地区研究大会	県研究大会	県研修会											
参加回数	1回〔0回〕	0回〔中止〕	0回〔1回〕											
参加延べ人数	5人〔一人〕	0人〔一人〕	0人〔2人〕											

(2) 家庭教育支援の充実

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>① 地域人材の育成</p> <p>○ 人材育成については、保育士を中心として主に乳幼児期に関する「保護者支援」の知識・技術等を身につけた保護者支援士の養成に努めた。しかしながら、結婚・妊娠・出産・育児まで切れ目のないきめ細やかな支援を行うコアサポーターや、家庭教育支援プログラムを進行するファシリテーターの養成講座については、新型コロナウイルス感染症のため未実施。</p> <p>評価については、新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインでの開催等を検討する必要があることから改善とした。</p> <p>○ 人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援コアサポーター養成講座 新型コロナウイルス感染症のため未実施 受講者数 - 〔 - 〕 ・家庭教育支援プログラムファシリテーター養成講座 	未達成	改善

<p>新型コロナウイルス感染症のため中止した。</p> <p>受講者数 ー [18人]</p> <p>ファシリテーター数 124人 [124人] 【160人】</p> <p>・南島原市保護者支援スキルアップ講座</p> <p>7月25日(日)、10月24日(日)、11月28日(日)、 12月19日(日)、3月20日(日)</p> <p>受講者数 4人 [6人]</p>		
<p>② 学びの機会の充実</p> <p>○ 子育てに関心が高い父母等に、乳幼児期から学びの機会創出を図るため、親育ち講座などの講座を実施したほか、家庭教育支援施設「わくわく広場」や公民館、図書館の積極的な活用に努めた。しかしながら、家庭教育(子育てサロン)講演会については、新型コロナウイルス感染症のため中止した。今後は、他部署の事業と類似する事業の整理を行い、対象範囲や条件、規模等を縮小する。</p> <p>○ 家庭教育学級</p> <p>・市内 69教室 [27教室] 受講者数 373人 [314人] 【48教室】</p> <p>○ 家庭教育講演会の実施</p> <p>来場者数 147人 [ー]</p> <p>○ 家庭教育(子育てサロン)講演会の実施</p> <p>来場者数 ー [ー] 【500人】</p>	概ね達成	縮小
<p>③ 家庭教育支援に関するネットワークの構築</p> <p>○ 家庭教育支援プログラムなどを活用した「子育て講座(わくわく広場)」を開催できた。また、家庭教育支援員による子育て相談や情報提供などの「子育て支援」をありえコレジョホールで定期的実施することができた。</p> <p>○ わくわく広場における講座</p> <p>市内 14講座 [21講座]</p> <p>受講者数 140人 [192人]</p> <p>(家庭教育支援プログラム、おはなし会ほか)</p> <p>○ 情報提供及び相談支援(講座以外)</p> <p>来所・訪問件数 75件 [100件]</p> <p>来所・訪問者数 209人 [202人]</p>	概ね達成	継続

(3) 地域教育力の充実

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>① 地域による学校支援の充実</p> <p>○ 学校支援会議を核とした「南島原っ子の夢・憧れ・志育成プロジェクト」に基づき、学校・家庭・地域の更なる連携・協働による子どもたちの生きる力や相互の教育力の向上に努めることができた。</p> <p>会議、研修会を通じて、これからの学校と地域の目指すべき姿として、コミュニティ・スクール、地域学校協働活動へ移行を推進し、10月1日(金)の南有馬小学校並びに南有馬中学校のコミュニティ・スクール(学校運営協議会)設立に伴い、南有馬地区地域学校協働本部を発足した。</p> <p>今後も学校教育部局と調整を図りながら事業を推進する。</p> <p>・コミュニティ・スクールへの移行に伴う学校支援会議の状況調査</p> <p>実施日 1月14日(金) 市内小中学校 【1地区】</p> <p>・コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動関係者研修会</p> <p>実施日 7月2日(金) 原城オアシスセンター (41人) 【23人】</p>	概ね達成	継続

<p>② 地域教育力を生かした交流体験活動の実施</p> <p>○ 放課後こども教室・ながさき土曜学習推進事業（寺子屋21） 新型コロナウイルス感染症のため後期教室を中止した。 週末活動がメインであることから、今後平日の居場所づくりや学習活動の場として、新しい生活様式のもと放課後教室の拡充に努めたい。</p> <p>前期 64教室 参加者数 498人〔-教室・-人〕 後期 - 参加者数 - 〔-教室・-人〕 【64教室】</p>	未達成	継続
<p>○ 地域で学ぶ通学合宿事業 新型コロナウイルス感染症のため中止した。</p> <p>（6泊7日通学合宿）</p> <p>有 家 参加者数 - 〔-〕 北有馬 参加者数 - 〔-〕 南有馬 参加者数 - 〔-〕 加津佐 参加者数 - 〔-〕</p> <p>（3泊4日通学合宿）</p> <p>深 江 参加者数 - 〔-〕 布 津 参加者数 - 〔-〕 【7地区】</p>	未実施	継続
<p>○ 子ども会育成事業 新型コロナウイルス感染症のため中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども映画会 参加者数 - 〔-〕 ・のびのび少年デー 参加者数 - 〔-〕 ・次期ジュニアリーダー研修会 深 江～西有家 参加者数 - 〔-〕 北有馬～加津佐 参加者数 - 〔-〕 	未実施	継続
<p>③ 地域ぐるみの健全育成活動</p> <p>○ 青少年健全育成事業 夏休み帰宅放送および南島原市民会議広報誌配布は実施したが、新型コロナウイルス感染症のため、少年ソフトボール大会以外の事業は中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然と遊ぼう 参加者数 - 〔-〕 ・少年ソフトボール大会 8月8日（日） 参加チーム数 7チーム〔-〕 ・夏休み帰宅放送（各中学校代表） 夏休み期間 7月21日（水）～8月31日（火） ・ファミリンピック 参加者数 - 〔-人〕 ・南島原市民会議広報誌配布（学校経由他） 配布部数 4,000部〔4,000部〕 	未達成	継続
<p>④ 成人教育</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症に伴い、新しい生活様式のもと、公民館講座等の学習活動の機会と内容の充実を図るとともに、学習の成果を社会に還元できるような環境の整備に努めた。今後も各地区での一般講座、女性講座、歴史講座、防災講座等の地域課題に即した講座や人づくり・地域づくりにつな</p>	概ね達成	継続

がる学習会、自治公民館などとの連携事業を企画し、公民館本来の役割を考えた事業の実施に努めたい。

地域の活性化を図るため、市内各地域において自治会・公民館活動を積極的に行っている取組事例を紹介し、市民一人ひとりが今後の南島原市を考え、地域が抱える課題解決を目的とする「地域の力を考える集い」は新型コロナウイルス感染症のため中止した。

各種公民館講座の開設

- ・一般講座、女性講座、歴史講座、防災講座、高齢者学級
97教室〔41教室〕 135回〔128回〕 【70教室】
受講者数 延べ2,310人〔2,288人〕
- ・地域の力を考える集い 中止
深江・布津会場 参加者数 ー〔一人〕
有家・西有家会場 参加者数 ー〔一人〕
北有馬・南有馬会場 参加者数 ー〔一人〕
口之津・加津佐会場 参加者数 ー〔一人〕

⑤ 人権教育

○ 青少年人権教育推進事業の開催

- ・青少年人権講演会（市内全ての中学生対象）

12月 2日(木)	西有家中学校	講師：小玉 澄香 氏
12月 3日(金)	有家中学校	講師：梅木澤 茂 氏
12月 6日(月)	南有馬中学校	講師：成末 桂子 氏
12月 6日(月)	口之津中学校	講師：塩田 絹代 氏
12月 9日(木)	北有馬中学校	講師：山田 喜典 氏
2月25日(金)	深江中学校	講師：儀間 由里香 氏

- ・人権教育学習会（市内小学生対象）

11月30日(火)	有馬小学校（中高学年）	講師：土手野 和弘 氏
12月 3日(金)	加津佐小学校（4年生）	講師：中村 まり子 氏

達成 継続

(4) 芸術文化の振興

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>① 子ども芸術鑑賞事業</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症のため中止した。 評価については、新型コロナウイルス感染症対策として参加人数を制限する必要があることから改善とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年劇場（中学生対象） 市内中学校 ー〔ー〕 ・子ども夢劇場（小学生対象） 市内小学校 ー〔ー〕 <p style="text-align: right;">子ども芸術鑑賞事業【10回】</p>	未実施	改善
<p>② 芸術文化振興事業</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症のためミュージカル「クラスアクト」を中止した。 評価については、新型コロナウイルス感染症対策として参加人数を制限する必要があることから改善とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加藤登紀子コンサート 11月3日（水・祝） 入場者 235人 ・ミュージカル「クラスアクト」中止 	未実施	改善

<p>③ 第20回セナリヨ現代版画展</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症のため表彰式を中止した。 評価については、新型コロナウイルス感染症対策として審査方法や表彰式の見直し等を検討する必要があることから改善とした。</p> <p>応募総数 9,362点 [-] 参観者数 333人 [-]</p>	概ね達成	改善
<p>④ アートビレッジ・シラキノ事業</p> <p>○ アーティスト・イン・レジデンス（AIR）事業 アーティスト・イン・レジデンス（AIR）事業は新型コロナウイルス感染症のため後期を中止した。 AIR事業以外の版画に関連した講座を開催し、地域住民等との交流を含め、本市の多様な魅力の創出につなげることができた。 評価については、施設の在り方について協議する必要があることから改善とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アートビレッジ・シラキノ エducator（※） 池田 俊彦 氏 ・アーティスト・イン・レジデンス（AIR）事業 後期中止 前期 8月10日（火）～10月10日（日）招へい者 2人 [-] ・銅版画講座3回 参加者 22人 [7人] ・木版画講座9回 参加者 57人 [6人] ・長崎県美術館名品展移動美術館 IN 南島原市 12月2日（木）～12月12日（日）参加者 606人 <p>※ エducator：美術館や博物館において教育・普及活動を行う専門家。 展示解説や各種の教育プログラムなどに携わり、来館者の学習を支援する。</p> <p>○ 施設（ギャラリー、工房、宿泊）の利用 施設の運営面ではギャラリー・工房・宿泊施設の個人やグループでの利用が少なく、今後、利用拡大に向けた取組が必要である。</p> <p>ギャラリー 1件 [0件] 工房 7件 [2件] 宿泊 5件 [2件]</p>	未達成	改善

(5) 読書活動の推進

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>① 図書館</p> <p>○ 市民の利便性を向上させ、より使いやすい図書館運営を図るため、市内6図書館、2図書室が連携・協力し読書活動の推進を行った。</p> <p>また、「子どもと本でつながる学校と図書館」連携事業は、新型コロナウイルス感染症防止対策のもと実施することが出来た。</p> <p>学校図書館に図書館司書を派遣し、小・中学校図書館、図書館、公民館図書室が相互に連携し、図書資料の充実を行い、子どもの読書活動推進にも取り組んだ</p> <p>更には、家庭教育支援施設としての機能の充実を図るため、親子や幼児を対象とした図書館教室の開催や、乳幼児図書の充実にも努めた。</p> <p>このように他市にない充実した読書環境を生かし、知の地域づくりに努めるとともに、新型コロナウイルス感染症に伴う自粛等のなか、子どもの居場所づくりや読書教育の充実につながったことは一定の評価ができる。</p> <p>今後も保護者や地域住民によるボランティアの育成を目指し社会教育行政職員、図書館職員、図書館ボランティア、学校などの関係機関と連携を密にし、知の地域づくりに取り組んでいきたい。</p>	達成	継続
<p>② 読書活動推進事業</p> <p>図書館教室は新しい生活様式のもと実施したが、新型コロナウイルス感染症のため、図書館まつりは中止した。</p> <p>このほか、南島原市の子どもたちが、より確かな読書習慣や情報活用を身につけていくための指針として「南島原市子ども読書活動推進計画」を令和4年3月に策定した。今後は、本計画に基づき、更なる読書活動の推進に取り組んでいきたい。</p> <p>○ 図書館教室 内容 各図書館 参加者数 延べ 3,308人〔2,580人〕</p> <p>○ 図書館まつり 各図書館 中止</p>	概ね達成	継続
<p>③ 図書館ボランティアの育成</p> <p>新型コロナウイルス感染症防止対策のもと実施することができた。</p> <p>評価については、新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインでの開催等を検討する必要があることから改善とした。</p> <p>○ 読書サポーター養成講座 10月30日(土) 11月6日(土) 参加者 81人〔-〕</p> <p>○ 図書館友の会支援事業 内容 図書館友の会7団体へ運営費補助</p>	達成	改善

4 スポーツの振興に関する事務

(1) スポーツイベントの開催

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>① 南向きファミリー元気フェスタ！</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症のため中止した。 評価については、多目的広場を活用した事業を検討することから改善とした。 <p>－ 〔－〕</p>	未実施	改善
<p>② 口加駅伝競走大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症のため中止した。 <p>－ 〔－〕</p>	未実施	継続
<p>③ 南島原市綱引き大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症のため中止した。 <p>－ 〔－〕 【500人】</p>	未実施	継続
<p>④ 原城マラソン大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第30回記念大会として準備を行っていたが、新型コロナウイルス感染症のため昨年に引き続き延期した。 評価については、第30回記念大会として実施することから拡充とした。 <p>－ 〔－（申込者数）〕 【2,000人】</p>	未実施	拡充
<p>⑤ 小学生水泳教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本市は前浜・野田浜・白浜海水浴場といった美しい自然環境を有していることから水泳に親しむ環境づくりと、水難防止の目的のため市内全地区で3年生～6年生を対象に、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、市内各プールで水泳教室を開催した。 <p>129人 〔－〕</p>	達成	継続
<p>⑥ フィットネススクール</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症のため中止した。 評価については、事業見直しのため完了とした。 <p>－ 〔－〕</p>	未実施	完了
<p>⑦ 自然体験事業「ネイチャー」・「海ノート・山ノート」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ B&G海洋センター事業「ネイチャー」は市外での体験活動のため中止した。 ○ 「海ノート・山ノート」は新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、南島原市の豊かな海や山などの自然を楽しむ体験活動をとおして、地域の人との関わりと郷土愛の醸成を図った。 <p>延べ88人 〔－〕</p>	達成	継続
<p>⑧ マリンスポーツ教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、カヌー、ヨット、SUP等、南島原市の自然に触れ合いながらマリンスポーツ体験を行う教室を開催した。また、親子対象としたプログラムも取り入れ、親子が触れ合うきっかけ作りとなった。 <p>7月28日(水)～8月20日(金) 計16回 182人〔248人〕</p>	達成	継続

<p>⑨ マリン・ア・ラ・カブーフェスタ</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症のため中止した。 － 〔－〕</p>	未実施	継続
<p>⑩ 市民スポーツ大会</p> <p>○ 市スポーツ協会の主催、並びに加盟団体の運営による市民スポーツ大会を実施した。</p> <p>本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、大会を中止する競技団体もあったが、24競技中14競技が新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで大会を実施した。</p> <p>7月11日(日)～10月31日(日) 973人〔666人〕</p>	未達成	継続
<p>⑪ スポーツ専門指導員育成講習会</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症のため中止した。 － 〔－〕 【100人】</p>	未実施	継続

(2) スポーツ団体との連携

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>① 南島原市スポーツ協会との連携</p> <p>○ 現在、スポーツ協会は24競技団体が加盟しており、スポーツ競技の普及・振興を図り、市民の体力向上と健康増進に寄与するために、事務局である生涯学習課とスポーツ協会が連携し、市民スポーツ大会の開催や県民体育大会への選手団の派遣等、市内競技スポーツの競技力の向上に取り組んだ。</p>	概ね達成	継続
<p>② 南島原市スポーツ推進委員会との連携</p> <p>○ 教育委員会とスポーツ推進委員会が連携することで、市内全体のスポーツ事業のスムーズな運営を行っているが、昨年度は新型コロナウイルス感染症のため、ほとんどの事業が中止となった。</p> <p>また、スポーツ推進委員が中心となって取り組んでいる地区体育祭も、新型コロナウイルス感染症のため延期または中止となったが、スポーツ推進委員を中心に、延期・中止の判断がなされ、周知もスムーズに行うことができた。</p>	概ね達成	継続
<p>③ 総合型地域スポーツクラブとの連携</p> <p>○ TEAMひまわり、が取り組んでいる幼児期からの運動能力・運動神経の向上を目的とした保育園・幼稚園を巡回する「からだ遊び教室」や「各種スポーツ教室」等の事業については、感染対策を講じたうえで概ね実施することができた。今後は、令和4年2月に完成した多目的運動広場の指定管理者となったTEAMひまわりと連携し、施設の活用とスポーツの推進に取り組む。</p>	概ね達成	継続
<p>④ 小学校社会体育活動支援</p> <p>○ 児童の健全な育成と体育・スポーツ活動の振興を図るため、児童で組織するクラブ活動に対して補助金を交付した。</p> <p>32クラブ〔34クラブ〕</p>	達成	継続

5 文化財の保護活用に関する事務

(1) 資料館等の維持・管理

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>① 口之津歴史民俗資料館</p> <p>○ 口之津歴史民俗資料館収蔵品の燻蒸処理、修繕、施設ガイダンス（館長解説）を実施した。</p> <p>達成度については、コロナ禍の影響もあり入館者数が昨年度より減少しているため未達成とした。</p> <p>評価については、分館に所蔵しているものを中心として、新しい企画展等の開催、さらに入館者数増加対策を検討する必要があることから改善とした。</p> <p>入館者数 2,486人〔4,091人〕</p>	未達成	改善
<p>② 深江埋蔵文化財・噴火災害資料館</p> <p>○ 深江埋蔵文化財・噴火災害資料館展示資料の整理並びに説明を実施した。</p> <p>達成度については、コロナ禍の影響もあるが、魅力度も低く入館者数が少ない状況であるため未達成とした。</p> <p>評価については、現在展示している出土品が、わかりにくい展示内容となっており、今後、新たに出土したものを中心に、年間を通した企画展等を検討する必要があることから改善とした。</p> <p>入館者数 65人〔61人〕</p>	未達成	改善

(2) 指定文化財の保護・管理

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価												
<p>① 指定文化財の保護管理</p> <p>○ 国指定・県指定・市指定文化財の保存管理に努めた。特に国指定史跡の原城跡や日野江城跡においては、景観が損なわれることのないように配慮する必要がある。</p> <p>原城跡と日野江城跡の史跡等を中心に、主として除草作業を実施した。</p> <p>市内文化財の除草作業も定期的にも実施した。</p> <p>○ 天ヶ瀬古墳説明板建替の外、5件の案内板修繕等を実施した。</p> <p>○ 原城跡及び日野江城跡において、近年の豪雨によりき損した法面の復旧工事を実施した。</p> <p>史跡の災害復旧工事・・・計4件</p> <table border="1" data-bbox="220 1536 1225 1800"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>工事費（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原城跡法面復旧工事（災害復旧）（R2 線）</td> <td>21,523,700</td> </tr> <tr> <td>日野江城跡法面復旧工事（災害復旧）（R2 線）</td> <td>2,310,000</td> </tr> <tr> <td>原城跡法面復旧工事（4 工区）</td> <td>40,423,900</td> </tr> <tr> <td>原城跡法面復旧工事（3－2 工区）</td> <td>11,152,900</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>75,410,500</td> </tr> </tbody> </table>	工事名称	工事費（円）	原城跡法面復旧工事（災害復旧）（R2 線）	21,523,700	日野江城跡法面復旧工事（災害復旧）（R2 線）	2,310,000	原城跡法面復旧工事（4 工区）	40,423,900	原城跡法面復旧工事（3－2 工区）	11,152,900	合計	75,410,500	概ね達成	継続
工事名称	工事費（円）													
原城跡法面復旧工事（災害復旧）（R2 線）	21,523,700													
日野江城跡法面復旧工事（災害復旧）（R2 線）	2,310,000													
原城跡法面復旧工事（4 工区）	40,423,900													
原城跡法面復旧工事（3－2 工区）	11,152,900													
合計	75,410,500													
<p>② 指定文化財の巡回</p> <p>○ 指定文化財の巡回を行い、き損等の初期発見に努めた。</p> <p>県指定文化財：文化財巡視活動 回数（年間）3回〔3回〕</p> <p>市指定文化財：月1回加津佐から深江の主な文化財の巡回を兼ねて除草作業を実施した。</p>	概ね達成	継続												

<p>③ 指定文化財の防災訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指定文化財の防災訓練を行う必要がある。 令和4年1月26日(水)に口之津歴史民俗資料館分館から出火したと想定して文化財防火訓練を実施した。 	概ね達成	継続
---	------	----

(3) 埋蔵文化財の発掘調査

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>① 権現脇遺跡整理調査・報告書刊行</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国土交通省砂防事業に伴う発掘調査 検出した遺構・遺物の整理調査を実施し、南島原市文化財調査報告書第28集「権現脇遺跡」を刊行した。 	達成	完了
<p>② 見岳地区本調査・整理調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県営ほ場整備事業に伴う発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・養台寺跡 調査面積 1,185㎡ 旧石器時代、縄文時代早期の遺物を確認した。 ・野中B遺跡 調査面積 185㎡ 縄文時代後期、縄文時代晩期、弥生時代早期、弥生時代中期、弥生時代後期の遺構・遺物を確認した。 ・野中C遺跡 調査面積 16㎡ 縄文時代後期、縄文時代晩期、弥生時代早期の遺構・遺物を検出した。 ・新堂原遺跡 調査面積 1,237㎡ 弥生時代前期、中世の遺構・遺物を確認した。 	達成	継続
<p>③ 日野江城城下地区遺跡範囲確認調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農業用ハウス建設に伴う発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・日野江城城下地区遺跡 調査面積 16㎡ 少量の遺物は確認されたが、遺構は確認されなかった。 地下への影響は小さいため、本調査不要と判断した。 	達成	完了
<p>④ 今福遺跡範囲確認調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農業用ハウス建設に伴う発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・今福遺跡 調査面積 28㎡ 弥生時代後期頃の遺物包含層を確認した。また、1箇所から大量の弥生土器が出土した。 盛土による保護措置の実施で地下への影響は小さくなり本調査不要と判断した。 	達成	完了
<p>⑤ 常光寺前駅西側遺跡試掘・範囲確認調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市農道拡幅に伴う発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・常光寺前駅西側遺跡 調査面積 43㎡ 2地点において中世の遺構・遺物を確認した。 約60㎡の本調査が必要と判断した。 	達成	完了
<p>⑥ フケタ遺跡試掘・範囲確認調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 河川改良工事に伴う発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・フケタ遺跡 調査面積 16㎡ 遺構面・遺物包含層ともに確認されなかった。 本調査不要と判断した。 	達成	完了

<p>⑦ 水打場遺跡内容確認調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県営ほ場整備事業に伴う発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・水打場遺跡 調査面積 100㎡ <p>縄文時代晩期、弥生時代末～古墳時代、中世の遺構・遺物を確認した。</p>	達成	完了
<p>⑧ 二本櫓遺跡範囲確認調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市道南島原自転車道整備工事に伴う発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・二本櫓遺跡 調査面積 20㎡ <p>弥生時代早期、古墳時代、中世の遺物を確認した。 約400㎡の本調査が必要と判断した。</p>	達成	完了
<p>⑨ 大崎鼻遺跡範囲確認調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市道南島原自転車道整備工事に伴う発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・大崎鼻遺跡 調査面積 20㎡ <p>縄文時代晩期、中世の遺物を確認した。 約700㎡の本調査が必要と判断した。</p>	達成	完了
<p>⑩ 町村遺跡試掘・範囲確認調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市道南島原自転車道路整備工事に伴う発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・町村遺跡 調査面積 24㎡ <p>縄文時代後期、縄文時代晩期の遺物を確認した。 約160㎡の本調査が必要と判断した。</p>	達成	完了
<p>⑪ 北岡金比羅祀遺跡隣接地試掘調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市道南島原自転車道路整備工事に伴う発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・北岡金比羅祀遺跡隣接地 調査面積 32㎡ <p>中世の遺構・遺物を確認した。 約170㎡の本調査が必要と判断した。</p>	達成	完了
<p>⑫ 原城跡隣接地試掘調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市道南島原自転車道路整備工事に伴う試掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・原城跡隣接地 調査面積 8㎡ <p>遺構面・遺物包含層ともに確認されなかった。 本調査不要と判断した。</p>	達成	完了
<p>⑬ 有家中部地区試掘調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 有家中部地区ほ場整備事業に伴う発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・事業対象地 調査面積 100㎡ <p>本城原遺跡を新規発見した。</p>	達成	継続
<p>⑭ 通野遺跡整理調査・報告書刊行</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大苑地区県営畑地帯総合整備事業（担い手育成型）に伴う発掘調査 <p>検出した遺構・遺物の整理調査を実施し、南島原市文化財調査報告書第30集「通野遺跡」を刊行した。</p>	達成	完了
<p>⑮ 内野貝塚整理調査・報告書刊行</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市道改良事業に伴う発掘調査 <p>貝塚の出土遺物の整理調査を実施した。しかし、出土遺物の量が膨大で整理調査に時間を費やし、報告書刊行までは至らなかった。</p>	未達成	継続

<p>⑩ 大崎鼻遺跡整理調査・報告書刊行</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大崎鼻自然公園整備事業に伴う発掘調査 検出した遺構・遺物の整理調査を実施し、南島原市文化財調査報告書第29集「大崎鼻遺跡」を刊行した。 	達成	完了
<p>⑪ 原城跡二ノ丸整理調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学術調査 検出した遺物の整理調査を実施した。 	達成	継続

(4) 文化財保護審議会

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>① 文化財等調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指定文化財等の整備候補箇所検討 次年度における指定文化財等の説明板の改修等について、箇所の選定や内容について審議した。 	達成	継続

(5) 史跡原城跡・日野江城跡専門委員会

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>① 原城跡整備基本計画の改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年度策定した原城跡保存活用計画に基づき、史跡全体の本質的価値を適切に保存し、整備を実施するために、具体的なあり方についての改訂作業を進めてきた。さらに、文化庁からの意見を反映させ、より充実した計画書とするため、次年度へ繰り越しをした。 	未達成	継続

6 世界遺産推進に関する事務

(1) 世界遺産の価値に関する適切な情報提供

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>① 情報発信を図るためのパンフレット等の作成及び配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ パンフレット等の作成及び配布 多くの来訪者に原城跡の価値を理解していただくために、現地用パンフレットを総合案内所で配布したが、新型コロナウイルス感染症の影響により来訪者が低迷しており十分な配布ができていない。なお、在庫により対応可能であったため作成（増刷）は必要なかった。 今後は、来訪者数の増加につながる取組を行っていく必要がある。 	未達成	継続
<p>② 南島原市世界遺産情報発信システム「有馬歴史ガイド」と「原城VR」の活用及びシステムの拡充</p> <p>「原城跡の築城時」と「島原・天草一揆」という時期の異なる原城跡の価値を分かりやすく理解していただくことを目的として、原城跡総合案内所でVR（当時の原城本丸を再現したイメージ映像）などが体験できるタブレット端末の貸し出しを行っており、原城跡の価値を伝える手段の確保はできている。 令和3年度 貸出人数：825人 [前年度795人]</p>	達成	継続
<p>③ 原城跡の来訪者数及び利便性の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 原城跡来訪者数 原城跡の来訪者を的確に把握し、来訪者の利便性向上につなげるために本丸に来訪者カウンターを設置しており、設置以来、来訪者数の把握は適切にできている。 令和3年度来訪者数：25,693人 [前年度25,956人] 	達成	継続
<ul style="list-style-type: none"> ○ 来訪者用レンタサイクルの貸し出し数 原城跡の来訪者の利便性確保のため、原城温泉真砂と有馬キリシタン遺産記念館でレンタサイクルの貸し出しを行っており、来訪者の原城跡内やその周辺の移動手段のひとつとして活用されている。 令和3年度 貸出件数：1,222件 [前年度1,109件] 	達成	継続

(2) 世界遺産アクションプランに基づく取組の展開

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>① 南島原市世界遺産市民協働会議による取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 清掃活動の実施 原城跡で市民協働会議主催の清掃活動を実施した。 (6月(約80人)、11月(約50人) 延べ130人程度参加) 	達成	継続
<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界遺産登録3周年記念イベント 世界遺産登録から3周年を迎えるにあたり、多目的運動広場の落成式に合わせてウォークラリーと花火大会を開催した。ウォークラリーは申込開始から1週間たらずで定員の200人に達した。(家族での参加が9割) 浦田漁港から打ち上げた花火も多目的運動広場など色んな場所で多くの市民が楽しんだ。 	概ね達成	完了
<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界遺産登録3周年記念 企画展 【幻日 - 島原天草一揆を描く 柏本隆太作品展 - 】 長崎新聞で2010年から1年4ヵ月連載された小説「幻日」(故 市川森一氏・作)に掲載されていた挿絵67点を4期にわけて開催した。 オリジナル記念切手を作成し、絵はがきとセットで販売、185セットを売 	達成	完了

上。 期間中1,753人が来館し、全4期来館者は43人。各会期のギャラリートークも好評を博した。		
② 世界遺産啓発グッズの活用 世界遺産の啓発のため、市内で実施される会議などで、これまでに作成したパンフレットやグッズを配布した。	概ね達成	継続
③ 世界遺産推進のための事務 ○ 世界遺産影響評価 世界遺産保全のための取組の一つである世界遺産影響評価を長崎県と連携して実施した（多目的運動広場整備事業屋内交流広場ほか）。	達成	完了
○ モニタリングの実施及び定期報告準備 2022年の世界遺産委員会に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の保全状況が報告されることから、保存対象となる箇所などのモニタリングを行い、保全状況報告書の作成を行った。	達成	継続
○ 関係自治体との連携 長崎県や関係県市町と連携し、世界遺産の保全や普及啓発などの取組を実施した。	達成	継続
④ 世界遺産関連施設整備事業 ○ 世界遺産関連施設整備事業実施のための各種計画書の策定 世界遺産の構成資産である原城跡を中心とするガイドンス施設を中心として、観光振興や物産振興に資する機能も取り入れた世界遺産関連施設を整備することを目的として、ガイドンスの展示の方針等を定めた「原城跡等展示基本計画」、施設の整備規模や概要を定めた「文化観光拠点施設整備構想」を策定し、市内の周遊性をたかめるための施策なども盛り込んだうえで「南島原市フィールドミュージアム基本計画」として取りまとめた。	達成	継続